

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2003-255990(P2003-255990A)

【公開日】平成15年9月10日(2003.9.10)

【出願番号】特願2002-60427(P2002-60427)

【国際特許分類第7版】

G 10 L 15/22

G 10 L 13/00

G 10 L 15/00

【F I】

G 10 L 3/00 5 7 1 U

G 10 L 3/00 5 5 1 H

G 10 L 3/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月4日(2005.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対話相手の発話を音声認識する音声認識手段と、

それぞれ上記音声認識手段の認識結果に基づき、別個の応答生成ルールに従って、上記対話相手の上記発話に対する応答を生成する複数の応答生成手段と、

各上記応答生成手段によりそれぞれ生成された上記応答の中から1つの上記応答を、所定の評価関数を用いた評価結果に基づいて選択する選択手段と、

上記選択手段により選択された上記応答を外部に音声出力する音声出力手段と  
を具えることを特徴とする対話処理装置。

【請求項2】

上記複数の応答生成手段のうちの少なくとも1つの上記応答生成手段が、上記対話相手の上記発話の内容に拘わりなく、必ず上記応答を生成する

ことを特徴とする請求項1に記載の対話処理装置。

【請求項3】

上記選択手段は、

各上記応答生成手段に対してそれぞれ予め設定された出力割合と、各上記応答生成手段の現実の出力割合とにに基づいて、各上記応答生成手段によりそれぞれ生成された上記応答の中から1つの応答を選択する

ことを特徴とする請求項1に記載の対話処理装置。

【請求項4】

上記選択手段は、

上記複数の応答生成手段のうちの特定の上記応答生成手段が上記応答を生成したときは、当該応答を優先的に選択する

ことを特徴とする請求項1に記載の対話処理装置。

【請求項5】

上記選択手段は、

上記対話相手ごとに上記評価関数を変更する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の対話処理装置。

【請求項 6】

対話相手の発話を音声認識する第 1 のステップと、

それぞれ上記認識結果に基づき、それぞれ別個の応答生成ルールに従って、上記対話相手の上記発話に対する複数の応答を生成する第 2 のステップと、

生成された各上記応答の中から 1 つの上記応答を所定の評価関数を用いた評価結果に基づいて選択する第 3 のステップと、

選択した上記応答を外部に音声出力する第 4 のステップと

を具えることを特徴とする対話処理方法。

【請求項 7】

対話相手の発話を音声認識する音声認識手段と、

それぞれ上記音声認識手段の認識結果に基づき、別個の応答生成ルールに従って、上記対話相手の上記発話に対する応答を生成する複数の応答生成手段と、

各上記応答生成手段によりそれぞれ生成された各上記応答の中から 1 つの上記応答を所定の評価関数を用いた評価結果に基づいて選択する選択手段と、

上記選択手段により選択された上記応答を外部に音声出力する音声出力手段と

を具えることを特徴とするロボット装置。